

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 鈴木 勝

会長エレクト 守屋 紀忠

幹事 守屋 紀忠

第2253回 例会

平成25年10月10日 (晴) No.13

■司会：原 千明

■点鐘：百瀬 恵美子

■合唱：我等の生業

◇プログラム ・10月17日：斎藤正淳さん ・10月26.27日：地区大会 ・10月31日：R財団月間卓話

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2253回	19(16)	10	62.50%	—	—
2251回	19(16)	10	62.50%	3	81.25%

◇欠席者(6名) 及川、小林、宮澤、石山
原卓、太田さん

◇メイクアップ(3名) 宮澤、太田、片野さん

◇おめでとうございます

結婚記念日祝：河本親秀さん(10/9)



9日朝、宅急便で大きな段ボール函が来ました。宛名は家内になっていたの誰からかと思ってよく見たら大磯ロータリークラブとなっているのを見て、アッ今日は結婚記念日だったと気づきました。綺麗な花がブーケのように作られていて素敵で、家内に捧げました。昭和32年、結婚56年、よく考えてみると、私達二人も、三人の子供達も大病もせず、大怪我もなく過ごしてこられたという平凡な事が一番幸せだったなと思います。今後何年続くか分かりませんが頑張ります。

◇ひとこと

笹尾 政儀さん

社会人の絆： 季節の流れは早いもので、もう秋ですね！秋になると結婚式も多くなり、お招きを受けて、そしてスピーチを依頼されて



も、婿さん、花嫁さんの知識も乏しく困惑します。又スピーチをする人の数が多いのも閉口で、花嫁さんの会社の業績自慢話などは全く興味もなく、花嫁、花嫁さんの作業としてケーキ切りやキャンドルサービスと各テーブルを廻り、最期は両親に花束を贈り、客達はお義理で拍手するが、心では又同じ事かと飽き飽きする。それに披露宴も高額で何百万円になれば、お客のお祝儀もそれなりに。

自己が年齢を重ねると冠婚葬祭も多くなり、普通の家庭では悲鳴を上げざるを得ないが、然しこれを廃止する事は社会生活や人間交際をなくす事になるのでやむを得ない事になるのでしょうか

SAAより：もしジュニアが結婚される時は是非プリンスホテルをご利用下さい。(笑い)

◇会長報告

百瀬 恵美子会長代理

夏の陽気が戻ってきました。体調に気をつけて下さい。

河本さん結婚記念日おめでとうございます。

先週5日に小諸RCの



創立50周年記念式典に守屋幹事、河本PDG, 新宅さんと私の四人でお祝いに行って参りました。大変盛大な記念式典でした。基調講演で稲川明雄先生による「米百俵の精神に学ぶ人材育成」のお話をお聞きし著書「風と雲の武士」を頂きました。皆さんにお土産(地元のケーキ=古城の宴)を送って下さいました。

リンゴ(秋映え)のお土産は四人からのものです。



宿場まつりが11月10日に行われま
す。11月14日の例
会を宿場まつりに変更する事にしました。11月9日に準備のお手伝いの方もメイクアップと致します。協賛金も決定しました。

10月3日の理事会でロータリー財団と米山記念奨学会の寄付が目標に達していません。大磯RCとして全会員で目標達成の為財団と米山記念奨学会に各1万円の拠出をお願いする事を決定致しました。11月末までに全員のご協力をお願いします。

二宮RCとの合同夜間家族例会を1月16日に開催する事を決定しました。

今日皆さんのお手元に2012-13年度クラブ活動事業報告書お配りしました。遅くなり申し訳ありません。

◇幹事報告

守屋 紀忠幹事

・会長からありましたように四人で小諸の祝賀会に行って参りました。バスの中は寝ころんでもいいような状況で楽しくリラックスして行って参りました。志木、長岡両姉妹クラブ、子クラブの小諸浅間、地区ガバナー、近隣クラブの会長、幹事が参加され盛大でした。



回覧：

- ・ザ・ロータリアン誌受領
 - ・会報受理：志木、小諸RC
 - ・いわき鹿島RCより2012-13年度年次報告書／2013-14年度活動計画書(合本)受理
- 配布：大磯クラブ活動事業報告書配布

河本さんより米山記念奨学会に10万円の寄付がありました。

◇委員会報告

河本さん：高谷紗帆さんのR財団奨学生応募書類が揃いました。応募申請書、重点分野と目標, 論文を読みましたが、何れも素晴らしい内容で



した。TOIFLも120点満点のところ106点というハイレベルです。ご家庭も父君が日鉄住金環境(株)のトップ、二人の弟さんも東大の工学系特任研究員、慶応大学院哲学科修士、ご本人は北海道大学医学部卒、現在東京大学医科学研究所付属病院内科医(感染症)と優秀な家系です。今日ガバナー事務所に書類を届けます。

先日小田原にある西湘高校の先生から事務局に電話があり、青少年交換学生希望生徒の4名のうち二宮に住む生徒のスポンサークラブになって貰えないかと言う事でしたが、学校も生徒の住所も大磯の範囲外なのでお断りし、二宮クラブを紹介しておきました。

先日報告しましたワイアナエRCの会員の奥さんKay Baxterさん(元看護師)が17日に横浜に来るについて私と会いたいという日を5日程知らせてきましたので、都合を合わせて会い、こちらの事情と活動状況を伝えたいと考えています。

新宅さん：11月10日の大磯宿場まつりについては今まで为中心的に活動して頂いた及川さん、坂下さん、鈴木さんがいなくなりますので、皆さんの一層の協力をお願いします。



11月7日の14:00~15:30県立総合防災センターを見学します。卓話をなくして移動するよう会長・幹事でご検討をお願いします。

同時にIM実行委員会のメンバーや二宮クラブの会員さんをお誘いしてあります。

IMのカatalog作成中。ホストクラブ大磯の会長名をどうするか検討願います。

来襲14日から2週間、癒し(奥様のお供養)の四国8カ所廻りをしますので2回程例会を欠席しますので、賜暇をお願いします。

☆スマイルボックス

井上 浩吉さん

・百瀬 恵美子さん：河本様、御結婚記念日おめでとうございます。片野さん卓話たのしみです。



・守屋 紀忠さん：片野さん卓話 よろしくお願ひします。河本さん結婚記念日おめでとうございます。

・河本 親秀さん：結婚記念日のお祝ひ有難うございました。56周年になりますが、二人共 大病も大ケガもなく息災で来られた事に感謝です。

・河本 親秀さん：片野さん卓話 楽しみにしています。

・笹尾 政儀さん：河本さん結婚記念日おめでとうございます。片野さん卓話 楽しみにして居ります。

・井上 浩吉さん：片野さん卓話よろしくお願ひ致します。河本さん結婚記念日おめでとうございます。

・片野 一雄さん：小諸RC創立50周年記念例会、御出席の河本、新宅、百瀬、守屋さん大変御苦勞様でした。参加出来ず失礼しました。

◇ 卓話

◆◆◆ 幻の五輪 ◆◆◆

片野 一雄さん



今日は1964年に第1回東京オリンピックの開会式のあった日です。

さる9月8日の未明2020年のオリンピックの開催地が東京に決まった。プレゼンテーションの滝川クリステルさんの呪文のような言い回し「オ、モ、テ、ナ、シ」のキャッチフレーズが効いたというのがもっぴらの噂である。2020年の大会は1964年について華やかなものとなる事を祈りたい。

さて1940年に計画された東京オリンピック大会は日中戦争の中であって、残念ながら幻の大会になってしまった。ところが最近、当時の資料の一部が発

見され、異色の競技が計画されていた事が分かった。

計画の内容は、戦時色の強いグライダー競技であったという。となれば、競技はグライダーによるパイロットの養成と航空技術の進化・発展にほかならない。

カテゴリーは、①初級プライマリー(パチンコ式による発進) ②中級セコンダリー(車で引っ張って上空にあげる) ③上級ソアラ(航空機で引っ張り。空中で索を切る)の3種で、高度、滞空時間、航続距離を競うものだという。競技場所は、信州の霧ヶ峰滑空場(上昇気流が多く出る)という。この資料が早く公開されるのを楽しみにしている。

もう一つの「幻の五輪」は、満州国(中国東北部)であった。1932年(昭和7年)、清朝最期の皇帝・溥儀(ラストエンペラー)を執政にして樹立された満州国。「五族協和」による「王道楽土」の建設がスローガンで、国旗は新五色旗と呼ばれた。五族とは日本、漢、満州、朝鮮、蒙古の五民族で、まさに「五輪」である。それぞれ赤、黄、藍、白、黒と色分けし。当時はアカ、キ、アイ(ら)、シ、クと覚えたものである。

その満州国は、日本の敗戦と共にソ連の侵攻を受け、わずか13年の短き命でしかなかった。「幻の五輪」国家と言われる所以である。(配布資料：満州国の国旗)



小諸RC創立50周年記念式典における 百瀬 恵美子会長代理の祝辞

本日は小諸RC創立50周年記念をお迎えになり、まことにおめでとうございます。

このように盛大なお祝いの席にお招き頂き有り難うございます。15年前に両クラブが姉妹クラブとして提携を結んでから、先輩のクラブとして様々なご指導を頂きながら、友情の輪を拡げて参りました。小諸ロータリアンの皆様方は何時も仲良く、人情に厚く、誰でも暖かく包み込んで下さるお兄さんの存在であります。それは小諸のこの地にあると来る度に感じておりました。広大な自然と、歴史の町並みが、文化と芸術そして町の人々の心も育てています事に感動しております。この地で半世紀にわたり奉仕活動を実践されてこられた事に羨ましい思いもありました。50年を迎えるまでのご苦労はさぞかし大変なものだったと存じますが、ご努力の数を苦にせずに進まれています。私達大磯RCも15年前に記念植樹された「しだれ紅さくら」の木と共に成長して参りたいと思っています。

2011年3月11日の東北の震災を支援するに当たり、いわき鹿島RCのお力を借りながら支援致しました。その事が切っ掛けで本年4月にいわき鹿島RCと姉妹クラブとして提携する事が出来ました。これから友好の輪を拡げて参ります。

最期になりますが、小諸RCの皆さんが今日の感慨を胸に今後もご活躍下さいますようお願い申し上げます。

これからの小諸RCさんの60年、70年そして100年の発展をお祈り致しまして、ご祝辞に代えさせていただきます。

本当におめでとうございます！！